



国廣 克行

私は広島で生まれ、親の転勤で昭和41年に埼玉、その後昭和49年に千葉市園生町に移りました。中学1年の時に学校行事で行った九十九里浜での地引き綱、毎年家族で行った御宿の海水浴が懐かしく蘇ります。千葉国際駅伝では、中学校の通学路がコースの一部で何時もワクワクしてテレビを見ていました。高校卒業と同時に広島に生活が変わり、千葉との縁が切れていきましたが、県人会で千葉と縁のある方に出会え大変嬉しく思っています。



西 昌男

私は熊本県に生まれ、一八歳から二四歳まで六年間、千葉県船橋市に駐屯する第一空挺団で勤務し、青春時代を過ごしました。

その後広島市の海田市駐屯地で勤務中ひろしま駅伝大会第三回から、千葉県勤務経験者で「千葉県を応援する会」を発足させ応援を始めました。第五回から現在の県人会組織で応援が続いています。私は五年前に定年退職しましたが、今後も会員の皆様とご一緒に千葉県を応援しますので、宜しくお願いいたします。



橋岡 雅典

小学校一年生の秋、父の転勤で、広島から千葉市都町に引っ越したのが、ご縁です。住んでいた借家は面影が無いですが、転校して、最初に出来た友人のご両親が、経営されているスパー「都ストア」は今でも健在で、千葉に行くとき必ず伺います。また、小学校二年生から始めた野球。都公園グラウンドも近くにあり、思い出の地です。僅か四年弱でしたが、今でも千葉の友人とは仲良くさせて頂き、私にとっては、第二の故郷です。



佐藤 龍

私は、小学生から20歳までの14年間、船橋市で暮らしておりました。もっとも多感な時期に過ごしたの思い出は尽きません。今でも地元海老川沿いの緑地畑田畑区域を走り廻って遊んでいた頃をよく思い出します。

仕事柄転勤が多く、昨年4月に1年ぶりに広島市に戻り、今年で広島県在住通算10年目となります。県人会に入会できたことで、また千葉県との縁が近くなり、大変うれしく思っているところです。



滝澤 千都子

私は習志野市で育ち、千葉市の高校に通いました。就職で他県に移りましたが平成七年に習志野市内に自宅を得て千葉県人に戻りました。

父が千葉県で勤務していた為、私は2歳半まで千葉県で過ごしました。広島千葉県県人会の活動の中で一番の楽しみは、何と言っても1月の都道府県対抗男子駅伝です。ニューイヤークレ、箱根駅伝などで活躍した選手やそれを目指す中・高生ランナーと、レース後県人会主催のごくろうさん会で交流出来るからです。仲良くなった選手を応援するため県外に足を運ぶ事もあります。今後も千葉県ランナーを応援し元気づけて行きたいと思えます。



会員だより



主な事業報告

- 5月2日 県人会役員会開催
- 5月18日 会長他関西県人会総会出席
- 5月28日 会長千葉県庁訪問
- 6月9日 会長他在広島府県県人会懇親会出席
- 7月14日 県人会ビールの会開催
- 10月25日 駅伝企画会議開催
- 10月27日 会長他中部、関西千葉県人会との交流会出席
- 11月19日 会長滝田監督訪問
- 12月1日 平成30年度県人会総会開催
- 1月20日 第24回駅伝大会応援&懇親会開催
- 2月15日 県人会役員会開催

入会のご案内

千葉県ご出身の方ゆかりのある方、入会ご連絡お問合せを、心からお待ちしています。入会費・無料、年会費2000円。ご入会申し込みは、県人会ホームページ(別欄参照)又は左記にご連絡ください。

連絡先 君塚 弥六(事務局長)  
tel:fax 082-877-6050

会員往来

- 入会 瀧澤 千都子 習志野市、千葉市
- 生田 貢樹 千葉市
- 加藤 英紀 生田さんの友人
- 小田 幸男 習志野市
- 大野 康夫 四街道市
- 濱井 大輝 津田沼
- 寺口 智子 千葉市
- 佐藤 龍(再) 船橋市
- 退会 下野 元也(転勤)
- 合田 智恵(転勤)

ホームページのご案内

広島千葉県県人会ホームページは「県人会のあゆみ」「活動(イベント) 報告」「会員だより」「県人会会報」「全国都道府県対抗男子駅伝の情報」など、豊富な写真と情報が満載です。千葉県、千葉市、又他県の県人会ホームページにもリンクして楽しめます。今すぐ「広島千葉県県人会」を、インターネットで検索してご覧になってください。

編集後記

会報の創刊から編集を担当された下枝信之氏が、第5号発行を機に卒業されました。長い間のご協力に心から感謝いたします。

第6号から新たに生田貢樹が編集を担当致します。「新しい酒は新しい革袋に盛れ」の諺どおり、県人会報もこれを機に、装いを一新しました。

今年には県人会発足20周年で、記念行事も計画されています。皆さんと一緒に県人会を盛り上げましょう。

君塚 弥六 押尾 輝明  
生田 貢樹

